

水産物来週の見通し（2/17～2/22）

【鮮魚の概要】

オホーツクは流氷接岸につき、日本海、太平洋、道東からの入荷で、量は全体的に多くなる予想です。

【主要品目】

鮮マグロ⇒本マグロは、長崎産、鹿児島産の国産養殖が中心に入荷。
インド洋のバチマグロは若干入荷。

ホタテ ⇒標津産、野付産、噴火湾方面が中心に入荷。数量安定も、価格不安定。

ホッキ ⇒胆振方面、道東方面が中心に入荷。数量安定、価格安定。

ウニ ⇒道東方面、ロシア産が中心に入荷。数量安定も、価格安定。

貝ツブ ⇒真つぶは、様似産、広尾産が中心に入荷。数量不安定、価格高値。

毛ガニ ⇒厚岸他太平洋方面が中心に入荷。数量不安定、価格高め。

エビ ⇒ボタンえびは、日本海方面が中心に入荷。数量不安定、価格高値。
南蛮えびは、羽幌産、増毛産が中心に入荷。数量不安定、価格不安定。

キンキ ⇒日高産、根室産が中心に入荷。数量不安定、価格不安定。

ヒラメ ⇒日本海方面、噴火湾方面が中心に入荷。数量不安定、価格不安定。

カレイ ⇒真ガレイは、日本海方面、根室方面が中心に入荷不安定、価格不安定。
黒ガレイは、日本海方面、根室方面が中心に入荷不安定、価格不安定。

タラ ⇒日本海方面、襟裳産が中心に入荷。数量安定、価格安値。
フィレーの入荷多め。

やりいか⇒下北ほか青森産が中心に入荷。数量安定、価格安定。

ニシン ⇒石狩ほか日本海方面、道東方面が中心に入荷。数量安定、価格安定。